

## 医療環境におけるアート役割

病の治療には身体の「外」からの治療に加え「内」すなわち心の状態を整える治療とがありますが、薬を用いた治療が一般的になっている昨今では、本来人間に備わっている自然治癒力を高め、身体を癒やす、ということは忘れられがちです。健康な心身の状態では鎮痛物質が分泌し幸福感が増すとも云われていますし、免疫力の向上・低下は患者さんを取り巻く環境に左右されることは既に明らかになっています。

芸術=アートは少なからず健康に良い

影響を及ぼし、様々な問題の解決に繋がる役割になると考えます。ホスピタルアートは単なる病院・施設のインテリアではなく、その病院のあるべき方向性を含めた患者さんへのケアとなるべく、様々なコーディネートが重要なポイントになるのではないのでしょうか。

『びょういんあーとぷろじえくと』は、作家の方々とこの問題に取り組み続けています。患者さんの心に寄り添い、そして、この取り組みに賛同し参加・活動している作家の方々の祈りが届きますようお願いしてやみません。

文 ガラリーミヤシタ・宮下明美氏

びょういんあーとぷろじえくと  
19-21展  
全開催スケジュール

vol.1	2019年 前半	小川豊 小山恵穂 佐藤隆之
vol.2	2020年 前半	上嶋秀俊 野村裕之 山田恭代美
vol.3	2020年 後半	會田千夏 瀨川葉子 日野間尋子 藤山由香
vol.4	2021年 前半	伊藤幸子 奥野侯子 佐藤綾香 高橋佳乃子
vol.5	2021年 後半	安藤文絵 小林麻美 八子直子



### こぼこのこ 雪どけコンサート

日時：2020年3月2日(月) 14:30~15:00  
場所：札幌ライラック病院1階デイケア室

日本の楽器・箏、モンゴルの楽器・馬頭琴、世界の楽器・こえ。個性的な3人が織りなす、どのジャンルにもあてはまらないオリジナル曲を中心に演奏します。夢と現実を行き来する、絵本のような音の世界をお楽しみください。

~~~~略歴~~~~

- 2016年 ピアニストJaXonを中心に多民族の伝統楽器が融和し音を楽しむ「ポエティカOrchestra」が生まれる。
- 2018年 ポエティカOrchestraの中から「こぼこのこ」として3人での活動を開始。
- 2019年 展示会でのライブや人形劇とのコラボレーション等を行う。もう一つの民族楽器グループ「KaRiKuR(カラクル)」も始動。



主催：びょういんあーとぷろじえくと  
後援：札幌市 札幌市教育委員会  
NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会  
(公財)道銀文化財団 (公財)北海道文化財団  
場所：札幌ライラック病院  
札幌市豊平区豊平6-8-2-18  
☎ 011-812-8822 <http://www.lilac.or.jp>  
会期：2020.1/13(月・祝)~6/7(日)12:00~18:00  
テーマ：びょういんあーとぷろじえくと19-21展(第14回)  
vol.2-陽だまり  
テキスト：中田亜由美、宮下明美  
スタッフ：デザイン/井上始子、撮影/山岸靖司  
連絡先：びょういんあーとぷろじえくと代表 日野間尋子  
<https://www.hinoma.com/hospitalart/>  
<https://www.facebook.com/Byouinatopurojekuto>

予告

アート、ちょっと立ち話

患者さんご家族、医療スタッフ、アーティストで、病院内に展示したアート作品をみながら「アート、ちょっと立ち話」を楽しみたいと思います。詳細については、追って、ホームページ等でご案内させていただきます。



vol.2

# 陽だまり

2020年1月13日(月・祝)~6月7日(日) 12:00~18:00

びょういんあーとぷろじえくと19-21展(第14回) Vol.2-陽だまり | 会場 | 医療法人北志会 札幌ライラック病院 | 主催 | びょういんあーとぷろじえくと



## 上嶋 秀俊 Ueshima Hidetoshi

1966 北海道小樽市生まれ  
1991 東京造形大学造形学部デザイン学科卒業  
現在 小樽市在住  
www.flatfield.info/UES



目には見えない存在はきつとある  
様々なもの前に立ち止まり耳を澄ます  
何かかがぼんやりと現れる  
それは、あなたをそっと包み込む

### 主な展覧会

- 2019 道銀文化財団企画展 CUBE2019 /らいらく・ぎやらい(札幌)  
小樽・美術家の現在シリーズ テーマ展 風土 / 市立小樽美術館(小樽)  
鈴木吾郎と新鋭作家展-時を紡いで- / 市立小樽美術館(小樽)  
つながろう2019 終わりと始まり / 札幌駅前通地下歩行空間(札幌)  
2016年より参加
- 2018 見えない水を探して 上嶋秀俊展 / ギャラリーミヤンタ(札幌)
- 2017 500m美術館 vol.22 北の脈々 -North Line2- / 500m美術館(札幌)  
ハルカヤマ藝術要塞2017 FINAL CUT / 春香山山麓(小樽)  
びょういんあーとぶろじえくとの仲間たち展 / 黒い森美術館(北広島)
- 2015 第18回セルヴェイラ国際アートビエンナーレ2015(ポルトガル・セルヴェイラ)

## A.Seikuro (北の峯学園)

本案内状の背景の絵  
『雪どけ』

## 山田 恭代美 Yamada Kiyomi

1971 北海道札幌市生まれ  
1992 札幌大谷短期大学美術科卒業  
現在 札幌市在住

### 主な展覧会

- 2019 個展 水面トリップ / ギャラリーミヤンタ(札幌) '17'15'13  
個展 水とひかり / DAIMARU 札幌店美術画廊
- 2018 個展 水面の風景 / GALLERY ART POINT:bis(東京)
- 2017 びょういんあーとぶろじえくとの仲間たち展 / 黒い森美術館(北広島)
- 2016 植物区 / ギャラリーなつか(東京)
- 2015 びょういんあーとぶろじえくとまどの向こうに / 札幌ライラック病院  
第18回セルヴェイラ国際アートビエンナーレ2015(ポルトガル・セルヴェイラ)
- 2013 札幌美術展 アクア-ライン / 札幌芸術の森美術館

# 陽だまり

vol.2

新年にはじまり春を迎えて続く展覧会に参加させていただきます。札幌ライラック病院の中にも春の息吹を感じさせる展示ができたならと考えています。アートが、心のなかにも何か温かいものを作り出せたとしたら私達としてもこれ以上の喜びはありません。



## 野村 裕之 Nomura Hiroyuki

1961 岐阜県生まれ  
1986 金沢美術工芸大学彫刻科卒業  
1988 日本大学芸術学部芸術研究所修了

### 主な展覧会

- 2019 個展 アートとの対話“記憶について” / 紋別博物館  
つながろう2019 終わりと始まり / 札幌駅前通地下歩行空間(札幌)  
札幌雪像彫刻展 / 札幌彫刻美術館(札幌)
- 2018 石彫刻の8人展 / Gallery Retara(札幌)
- 2017 個展“愛着” / ギャラリー門馬 ANNEX(札幌)  
ハルカヤマ藝術要塞2017 FINAL CUT / 春香山山麓(小樽)

病の苦しみはその本人にしか本当のところわからない。だけど人間には想像力がある。人の痛みや苦しみを自分のこととして受け止め、共に寄り添い、自分に何ができるか、を考える力。考え、自分にできることを生み出す創造力。この二つの「そうぞうりょく」こそが「アート=人間の持つ稀有な能力」なのではないかと思います。「びょういんあーとぶろじえくと」の試みが、病に向き合う人、共に寄り添う人、双方の「生きるための想像力と創造力」を触発し、それぞれの生命力を高めることに繋がることを願っています。



## 「陽だまり」に寄せて

「びょういんあーとぶろじえくと」では、2019年夏から2021年冬までの約3年をかけて、医療の場を、こころの通った温もりの感じられる人間らしい空間に近づけようと、美術家17名による5回の展覧会とイベントを継続開催中です。2回目となるvol.2は、テーマを「陽だまり」として展示しています。

病と向き合い治療している人は、戸惑ったり、不安になったり、今までどおりの日常が送れずに、辛い気持ちを抱えたまま日々頑張っています。そして、その人たちがそっと見守り支える家族や友人たち、医療スタッフも一緒に頑張つて疲れを感じているのではないかと思います。

ナイチンゲールはその著書「看護覚え書き」(1860年)の中で、「いつも同じ天井や壁を見ているような患者たちに色鮮やかな花一束を見せた時の患者たちの狂喜した様子を私は一生忘れない」と患者の色彩や変化への渴望について述べ、病院の療養環境において美しい色彩による変化が必要であることを論じています。

作家たちの優しい思いのこもった作品は、陽だまりのように命と向き合い日々頑張っている人たちの心にそっとふれて働きかけ、心を動かし、優しく包んで癒してくれることでしょうか。病院にいる、病院を訪れるすべての人たちにとって、心動かされる、日常を取り戻す一部になりますように願いを込めて。

札幌市立大学看護学部助手  
北海道大学公共政策大学院客員研究員  
看護師 中田 亜由美